

署勢概要

令和3年



令和4年刊行

川崎市宮前消防署

目 次

宮前消防署のあゆみ	1
消防署の組織	9
消防署の事務分掌	10
消防職員の配置	12
消防署所の配置車両等の状況	12
消防署管内図等	13
消防署所の受持区域及び応援区域	14
防火対象物の状況	15
消防用設備等の設置状況	15
各種届出状況	15
防火・防災管理対象物及び消防計画届出状況	16
建築同意事務処理状況	17
危険物許可施設状況	18
少量危険物施設状況	18
危険物保安監督者選任状況	18
月別火災状況	19
町（丁）名別火災件数等	20
令和3年中の主な火災	21
過去5年間の火災発生状況	21
過去5年間のガス事故発生状況	22
消防署所別管内消防隊災害出場状況	23
過去5年間の救急事故種別状況（出場件数）	24
宮前消防団の組織	25
宮前消防団管内図等	26
宮前区救急告示・救命救急センター医療機関	27
消防協力団体	27

宮前消防署のあゆみ

昭和15年12月	神奈川県川崎消防署を設置し、併せて高津出張所を開設した。	
昭和18年12月	神奈川県川崎消防署中原出張所の消防署昇格に伴い、中原消防署高津出張所と改称した。	
昭和22年10月	消防団令の公布に伴い、高津消防団を設置した。	
昭和23年 3月	消防組織法の施行に伴い、官設消防が市移管となり、川崎市消防本部を設置した。	
昭和34年 8月	川崎市の機構改革により、消防本部を消防局と改称した。	
昭和38年 8月	中原消防署高津出張所が高津消防署に昇格した。	
昭和40年 9月	高津消防署向丘出張所を開設した。	
昭和42年11月	高津消防署野川出張所を開設した。	
昭和45年 2月	高津消防署宮崎出張所を開設した。	
	向丘出張所に救急車を配置した。	
	宮崎出張所に救急車を配置した。	
	8月	高津消防署菅生出張所を開設した。
昭和47年 4月	政令指定都市になり、区政を施行した（5区）。	
昭和50年12月	救急隊の3部制を施行した。	
昭和55年 4月	高津消防署犬蔵出張所を開設した。	
昭和57年 7月	高津区から宮前区が分区された（7区）。	
昭和59年 7月	婦人消防隊委員会の発足により、第1期委員長に山田フサエが就任した。	
	10月	宮前消防署新築工事を着工した。
昭和60年 7月	宮前消防署を3課（庶務課、警防第1、2課）8係（庶務、機械、予防、保安、警備1・2、消防1・2）5出張所（向丘、野川、宮崎、犬蔵、菅生）で開設し、初代消防署長に田村義和が就任した。	
[宮前消防署開設]	人員135人、消防車両13台、救急車2台	
	向丘出張所の救急車を宮前消防署へ配置替えした。	
	宮前消防団を設置し、初代消防団長に田邊清が就任した。	
	団員111人、消防車両6台（本団・宮前・向丘・野川分団）	
	宮前消防研究会を発足し、初代会長に伊藤豊が就任した（会員53人）。	
	8月	宮前防火協会を発足し、初代会長に井田順登が就任した（会員85人）。
	12月	野川分団南野川班の小型動力ポンプが更新された。
昭和61年 1月	本署に西独製30m級はしご車が配置された。	
	6月	第2期宮前地区婦人消防隊委員会委員長に山田フサエが引き続き就任した。
	10月	川崎富士見ライオンズクラブから予防広報車の寄贈を受けた。
昭和62年 2月	川崎宮前ロータリークラブから移動式投光器の寄贈を受けた。	
	4月	宮崎救急隊を野川出張所に配置替えし、野川救急隊とした。
	宮崎出張所の増改築工事完成、火災時等部隊出場時残留員廃止となり、訓令定員133人（2人減）とした。	
	12月	初代防火協会長の退任により、第2代会長に小島隆が就任した。
	救助工作車を配置し、消防車両等14台、訓令定員143人とした。	

昭和63年	3月	自治体消防40周年記念に伴い、職員の意見発表会、特別消防協力者等（消防協力団体3団体、防火管理等協力者3人、婦人消防隊協力者2人）の表彰式を実施した。
		宮前消防団に日本消防協会から竿頭綬が授与された。
	4月	初代消防署長の退職に伴い、第2代消防署長に川邊直行が就任した。
	6月	第3期宮前地区婦人消防隊委員会委員長に小森赫子が就任した。
	11月	宮前区小台1丁目、安藤直氏から宮前救急車の寄贈を受けた。
	12月	犬蔵出張所の消防ポンプ自動車（CD-I型）、野川出張所の救急自動車（2B型）が更新配置された。
平成元年	4月	消防署所の適正配置と消防施設の整備計画により、野川出張所を宮前区に移転・改築した。
		消防署の機構改革により、副署長が配置され、3課（予防課、警防第1、2課）8係（庶務、予防、保安、救急、警備1・2、消防1・2）となった。
	5月	宮前区野川の建設現場（野川健康センター）の土砂崩れにより、死者5人、負傷者2人が生じた。
平成2年	2月	野川出張所の消防ポンプ自動車（CD-I型）が更新配置された。
	3月	本署にポンプ積載車が配置、宮前分団神木班に小型動力ポンプ付積載車が更新配置された。
		宮前分団土橋班器具置場が改築された。
	4月	第2代消防署長の退職に伴い、第3代消防署長に山田秀久が就任した。
		幼年消防クラブが初山幼稚園及びゆりかご幼稚園の2園で発足した。
	6月	第4期宮前地区婦人消防隊委員会委員長に本橋浦子が就任した。
		川崎市婦人消防隊育成検討委員会委員長に本橋浦子が就任した。
	12月	宮前分団土橋班の消防ポンプ専用積載車が更新配置された。
平成3年	1月	向丘出張所の消防ポンプ自動車（CD-I型）が更新配置された。
	2月	本署に水槽（2t）付消防ポンプ自動車が配置された。
	6月	宮前救急隊及び野川救急隊に自動車電話を新配置し、運用を開始した。
		第1期少年消防クラブが30人で発足した。運営委員長に三宅尤夫が就任した。
	10月	向丘出張所改築のため犬蔵出張所へ一時移転した。
		宮前分団土橋班の小型動力ポンプが更新配置された。
	11月	宮前分団有馬班の名称が住居表示の変更に伴い、馬絹班と変更した。
平成4年	4月	第3代消防署長の異動に伴い、第4代消防署長に三木康敬が就任した。
	6月	第5期宮前地区婦人消防隊委員会委員長に与田好子が就任した。
	9月	週休二日制の試行に伴い、救急隊が3部制から2部制になり、訓令定員を155人とした。
	11月	本署の広報車が更新配置された。
	12月	向丘出張所の改築工事が完了し、業務を開始した。
		野川分団野川班、南野川班の小型動力ポンプ付積載車が更新配置された。
平成5年	3月	週休二日制が導入され、訓令定員を156人とした。
	4月	第4代消防署長の退職に伴い、第5代消防署長に窪田正彦が就任した。

	5月	初代消防団長の退団に伴い、第2代消防団長に井田耕夫が就任した。
	12月	宮前分団馬絹班の小型動力ポンプ付積載車が更新配置された。
平成6年	4月	消防情報管理システムを導入し、運用を開始した。
	5月	防火推進モデル地区として大塚町内会を指定した。
	6月	第6期宮前地区婦人消防隊委員会委員長に甲田悦子が就任した。
	9月	本署の査察車（Ⅱ型）、宮崎出張所の防災資機材運搬車が更新配置された。
	11月	宮崎出張所の消防ポンプ自動車（CD-I型）が更新配置された。
平成7年	2月	野川出張所に予備はしご車が配置換えされた。
	3月	救急救命士の配置に伴い、本署に高規格救急車が新配置された。
	4月	第5代消防署長の退職に伴い、第6代消防署長に小林一也が就任した。
	7月	宮前消防団発足10周年記念消防操法大会を実施した。
		向丘分団蔵敷班の小型動力ポンプ付積載車が更新配置された。
	9月	菅生出張所の消防ポンプ自動車（CD-I型）が更新配置された。
	10月	宮前消防10周年記念誌を発刊した。
	11月	救急救命士の配置に伴い、野川出張所に高規格救急自動車が配置された。
平成8年	1月	本署の査察車（Ⅰ型）が更新配置された。
	3月	本団、向丘分団蔵敷班、宮前分団馬絹班の小型動力ポンプが更新配置された。
	4月	条例改正により、宮前消防団員の定員を125人（女性含む）とした。
		第6代消防署長の異動に伴い、第7代消防署長に渡部清が就任した。
	6月	第7期宮前地区婦人消防隊委員会委員長に菅井保子が就任した。
平成9年	2月	犬蔵出張所の水槽（5t）付消防ポンプ車が更新配置された。
	3月	川崎富士見ライオンズクラブから消防用調査連絡車の寄贈を受けた。
		野川分団の対震用小型動力ポンプが更新配置された。
	4月	第7代消防署長の退職に伴い、第8代消防署長に岩井肇が就任した。
		防火推進モデル地区として馬絹小台町内会を指定した。
	6月	潮見台みどり幼稚園が3園目の幼年消防クラブとして結成された。
	10月	本署の広報車（Ⅲ型）が更新配置された。
平成10年	2月	本署の消防ポンプ自動車（CD-I型）が更新配置された。
		向丘分団蔵敷班の対震用小型動力ポンプが更新された。
		宮前消防ボランティア委員会が発足し、初代委員長に猿橋脩恵が就任した。
		宮前消防ボランティア委員会発足に伴い、（株）タマショウ社長高原司氏から、ヘルメット300個の寄贈を受けた。
	6月	第8期宮前地区婦人消防隊委員会委員長に菅井保子が引き続き就任した。
	7月	宮前防火協会が消防庁長官表彰を受賞した。
	10月	救助資器材として、ルーカス製ユニツール、救助用エアーマットが新配置された。
平成11年	4月	消防署の機構改革により、3課（予防課、警防第1、2課）、9係（庶務、予防、指導、警備1・2、消防1・2、救急1・2）となった。
	7月	消火機材として、インパルス消火システムが配置された。
	9月	宮前消防ボランティア委員会は、宮前区を5ブロックに区分し、各ブロックにリーダー1人、サブリーダー2人を選出し、配置した。

平成12年	4月	第8代消防署長の退職に伴い、第9代消防署長に千頭和雄一が就任した。
	6月	第9期宮前地区婦人消防隊委員会委員長に綿藤子が就任した。
	9月	宮前区の人口が市内7区で、初めて20万人を超えた。
	10月	宮前分団馬絹班、野川分団南野川班に対震用小型動力ポンプが配置された。
	11月	第2代消防団長の退団に伴い、第3代消防団長に篠田茂が就任した。
平成13年	2月	本署の高規格救急自動車を更新配置された。
	3月	犬蔵出張所の消防ポンプ自動車（CD-I型）が更新配置された。 平成12年度原子力防災資機材等緊急整備事業に基づき、原子力防災資機材等が配置された。
	4月	第9代消防署長の異動に伴い、第10代消防署長に菅原満が就任した。
	6月	少年消防クラブ初代運営委員長の辞任に伴い、第2代運営委員長に吉井勇が就任した。
	12月	野川出張所に配置されていた非常用はしご車を廃車した。 野川出張所の高規格救急自動車を更新配置された。
平成14年	2月	野川出張所及び向丘出張所の消防ポンプ自動車（CD-I型）が更新配置された。 第2代防火協会長の辞任に伴い、第3代会長に秋山義隆が就任した。
	4月	第10代消防署長の異動に伴い、第11代消防署長に小林道正が就任した。
	6月	第10期宮前地区婦人消防隊委員会委員長に宗岡純子が就任した。
平成15年	3月	本署の救助工作車が更新配置された（II型→III型）。
	4月	第11代消防署長の退職に伴い、第12代消防署長に原光男が就任した。 消防署の機構改革により、副署長と予防課長が兼務となり、警防統括主幹が配置されると共に、3課（予防課、警防第1、2課）8係（庶務、予防、警防1・2、調査1・2、救急1・2）1主査（危険物担当）とされた。
平成16年	1月	宮崎出張所に高規格救急自動車配置された。
	4月	第12代消防署長の異動に伴い、第13代消防署長に中島清一が就任した。
	6月	本署の広報車が更新配置された。 宮前防火協会役員改選により、第4代会長に黒沢一之が就任した。 第11期宮前地区婦人消防隊委員会委員長に芒崎八重子が就任した。
	11月	第3代消防団長の退団に伴い、第4代消防団長に石川富美雄が就任した。
平成17年	3月	菅生出張所の救急隊発隊と併せて、庁舎の増改築工事が完成し、高規格救急自動車が配置された。
	4月	第13代消防署長の退職に伴い、第14代消防署長に江口昭男が就任した。 本署の40m級はしご車が更新配置された。
	5月	初代消防研究会長の辞任に伴い、第2代会長に猿橋脩恵が就任した。 初代消防ボランティア委員長の辞任に伴い、第2代委員長に中山悦義が就任した。
	7月	宮前消防団発足20周年記念消防操法大会を実施した。 宮前消防関係団体20周年記念表彰式において、川崎市消防局長から宮前消防関係3団体（宮前消防団、宮前防火協会、宮前消防研究会）に表彰状が授与された。

	1 1 月	宮前消防署 20 周年記念消防フェアを川崎市消防総合訓練場で開催した。 本署のポンプ積載車が更新配置された。
平成 18 年	6 月	向丘分団神木班の小型動力ポンプ付積載車が更新配置された。 第 12 期宮前地区婦人消防隊委員会委員長に芒崎八重子が引き続き就任した。 川崎市婦人消防隊育成検討委員会委員長に、芒崎八重子が就任した。
	8 月	野川出張所の防災資機材運搬車が更新配置された。
	9 月	宮前分団土橋班の小型動力ポンプ付積載車が更新配置された。
平成 19 年	10 月	救急救命士による薬剤投与の運用を開始した。
	1 月	本署の水槽（2 t）付消防ポンプ自動車（CD-I 型）が更新配置された。
	2 月	高度特別救助隊の運用開始に伴う人事異動により、訓令定員を 172 人とした。
	4 月	第 14 代消防署長の退職に伴い、第 15 代消防署長に内田謙一が就任した。 宮前消防署に高度救助隊が発足し、運用を開始した。
	6 月	宮前防火協会役員改選により、第 5 代会長に工藤正興が就任した。
	7 月	市内一斉で P A 連携の運用を開始した。
平成 20 年	1 月	区内関係団体（宮前区役所、宮前警察署、宮前郵便局、宮前生活環境事業所）の協力を得て、宮前区救命ネットワークを立ち上げ、4 月 1 日から運用開始することとなった。 本署及び野川出張所の高規格救急自動車と、宮崎出張所の消防ポンプ自動車（CD-I 型）が更新配置された。
	4 月	指揮情報隊の運用に伴う人事異動により、訓令定員を 180 人とした。 新中原消防署の竣工に伴い、野川出張所の防災資機材運搬車が新中原消防署に配置換えとなった。 菅生出張所の消防ポンプ自動車（CD-I 型）は、車両更新計画に基づき予備車運用とされたことから、小田中出張所の消防ポンプ自動車（CD-I 型）が配置換えとなった。
	6 月	第 13 期宮前地区婦人消防隊委員会委員長に丸山量子が就任した。
	7 月	救急車の適正利用推進事業として、サポート救急の運用を開始した。
	9 月	本署の広報車（軽ワゴン）が更新配置された。
	12 月	野川分団野川班、南野川班の小型動力ポンプ付積載車が更新配置された。
平成 21 年	3 月	本署の指揮車（普通ワゴン）が更新配置された。
	4 月	向丘出張所の残留員の廃止により、訓令定員 177 人となった。 第 15 代消防署長の異動に伴い、第 16 代消防署長に南部浩一が就任した。 第 4 代消防団長の退団に伴い、第 5 代消防団長に永井輝政が就任した。
	6 月	少年消防クラブ改選に伴い、第 3 代運営委員長に谷島義雄が就任した。
	9 月	本署の査察車 II（軽ワゴン）が更新配置された。
	11 月	宮前分団馬絹班の小型動力ポンプ付積載車が更新配置された。
平成 22 年	3 月	本署の消防ポンプ自動車（CD-I 型）及び宮崎出張所の高規格救急車が更新配置された。 平成 21 年 12 月 3 日の宮前地区局所的豪雨災害を教訓として、宮前消防署、宮前区役所、宮前道路公園センター、宮前警察署から構成する宮前区災害対

		策連絡協議会が設置された。
平成23年	4月	第16代消防署長の異動に伴い、第17代消防署長に佐藤文隆が就任した。 本署に特殊災害対応自動車配置された（臨港消防署から配置換え）。 本署に大型除染システム搭載車が配置された（総務省消防庁から貸与）。
	6月	第14期宮前地区婦人消防隊委員会委員長に丸山量子が引き続き就任した。
	11月	日本APEC開催に伴う特別警防体制を実施した（救急隊増隊等）。
平成23年	4月	向丘出張所に市内25隊目の救急隊が配置された （向丘救急隊の運用に伴い訓令定数を187人とした）。
	8月	向丘分団蔵敷班の小型動力ポンプ付積載車が更新配置された。
	9月	菅生ヶ丘において、焼損面積が3,000㎡を超える倉庫火災が発生した。
平成24年	11月	向丘出張所の高規格救急車が更新配置された。
	3月	菅生出張所の高規格救急車が更新配置された。
	4月	第17代消防署長の異動に伴い、第18代消防署長に庄司茂が就任した。 消防団員用MCA無線機及びトランシーバーが配置された（消防団安全対策 設備整備事業）。
		第5代消防団長の退団に伴い、第6代消防団長に吉田義一が就任した。
	6月	第15期宮前地区婦人消防隊委員会委員長に芒崎八重子が就任した。
	7月	宮前防火協会役員改選により、第6代会長に杉田進が就任した。
	8月	ヘリコプターテレビ簡易受信装置が配置され、運用開始した。
平成25年	10月	菅生出張所の消防ポンプ自動車（CD-I型）が更新配置された。
	2月	本団、宮前分団土橋班、向丘分団神木班、野川分団野川班の対震用小型動力 ポンプが更新配置された。 警防査察用オートバイが8台更新配置された。
	3月	犬蔵出張所の水槽付（4t）ポンプ車が更新配置された。
	4月	第18代消防署長の退職に伴い、第19代消防署長に並木努が就任した。
	5月	警防査察用オートバイが3台更新配置された。 第2代消防ボランティア委員長の辞任に伴い、第3代委員長に砂川徹夫が就 任した。
	11月	新市長登庁に伴い、多摩消防署の災害対応指令車（多摩指揮2）が宮前消防 署本署に配置換えになり、宮前指揮2として配置された。
平成26年	12月	宮前分団馬絹班、向丘分団蔵敷班、野川分団南野川班の対震用小型動力ポン プが更新配置された。
	2月	野川出張所の消防ポンプ自動車（CD-I型）が更新配置された。 犬蔵出張所の消防ポンプ自動車（CD-I型）が更新配置された。 本署の高規格救急自動車が更新配置された。 有馬白百合幼稚園より、AEDレサシアン（成人）2体及びAEDトレーナ ー2基が寄贈された。 警防査察用オートバイが8台更新配置された。
	3月	本署の水槽（2t）付消防ポンプ自動車が更新配置された。 宮前区内に在住のバイク愛好家らで構成されるペガサス宮前と東日本大震災 が発生した3月11日に災害時連携協約を締結した。

	6月	第16期宮前地区婦人消防隊委員会委員長に芒崎八重子が引き続き就任した。
	9月	警防査察用オートバイが5台更新配置された。
	11月	区内避難所（指定された小中学校）に消火ホースキットの配置を開始した（3年計画で初回は鷺沼小学校に配置）。
平成27年	3月	宮前消防団発足30周年式典を開催した。 向丘出張所の消防ポンプ自動車（CD-I型）が更新配置された。
	4月	菅生出張所の配置人員の変更により訓令定数を184人とした。 第19代消防署長の異動に伴い、第20代消防署長に原悟志が就任した。 第6代消防団長の退団に伴い、第7代消防団長に秋山明が就任した。 野川出張所の高規格救急自動車が更新配置された。 本署のはしご車（30m級）が更新配置された。
	6月	宮前防火協会改選により、第7代会長石田周二が就任した。 警防査察用オートバイが1台更新配置された。
	7月	本署の広報車が更新配置された。
平成28年	3月	菅生出張所改築工事が終わり、運用を開始した。
	4月	第20代消防署長の異動に伴い、第21代消防署長に金子智哉が就任した。 本署の特殊災害対応自動車及び高度救助用資機材の更新配置等に伴い、宮前高度救助隊を宮前特別高度救助隊として、運用を開始した。
	6月	少年消防クラブ改選に伴い、第4代運営委員長に篠崎英雄が就任した。
	7月	第17期宮前地区婦人消防隊委員会委員長に丸山量子が就任した。 野川出張所の大型除染システム搭載車が犬蔵出張所に配置換えとなった。 本署の広報車が更新配置された。
	11月	宮崎出張所の高規格救急自動車が更新配置された。
	12月	警防査察用オートバイが1台更新配置された。
平成29年	3月	消防団員用MCA無線機6台が追加配置された。
	4月	宮前ジュニアハイスクール消防隊育成指導が本格運用することとなった。
	5月	宮前消防研究会改選により、第3代会長檜垣隆三が就任した。
	6月	宮前防火協会改選により、第8代会長渡邊浩志が就任した。
	7月	警防査察用オートバイが1台更新配置された。
	12月	本署の救助工作車が更新配置された。
平成30年	1月	向丘出張所、菅生出張所の高規格救急自動車が更新配置された。
	4月	第21代消防署長の退職に伴い、第22代消防署長に砥石勝美が就任した。 第7代消防団長の退団に伴い、第8代消防団長に杉田正文が就任した。
	7月	第18期宮前地区婦人消防隊委員会委員長に岡本朋子が就任した。
	11月	警防査察用オートバイが1台更新配置された。
平成31年	2月	宮崎出張所の消防ポンプ自動車（CD-I型）が更新配置された。
令和元年	5月	少年消防クラブ改選に伴い、第5代委員長に野村美千代が就任した。
	6月	宮前防火協会改選により、第9代会長石川閣が就任した。
令和2年	2月	警防部警防課の警防連絡車が宮前消防署本署に配置換えになり、宮前指揮2として更新配置された。

令和2年	3月	宮前地区婦人消防隊委員会が解散した。
	9月	本署の査察車（スバル）が更新配置された。
	11月	本署の高規格救急自動車更新配置された。
		向丘分団神木班の小型動力ポンプが更新配置された。
令和3年	2月	本署のポンプ積載車が更新配置された。
	4月	第22代消防署長の異動に伴い、第23代消防署長に杉山哲男が就任した。
	12月	野川出張所の高規格救急自動車更新配置された。
令和4年	1月	本署の指揮車が更新配置された。
	3月	宮前分団土橋班の小型動力ポンプ付積載車が更新配置された。

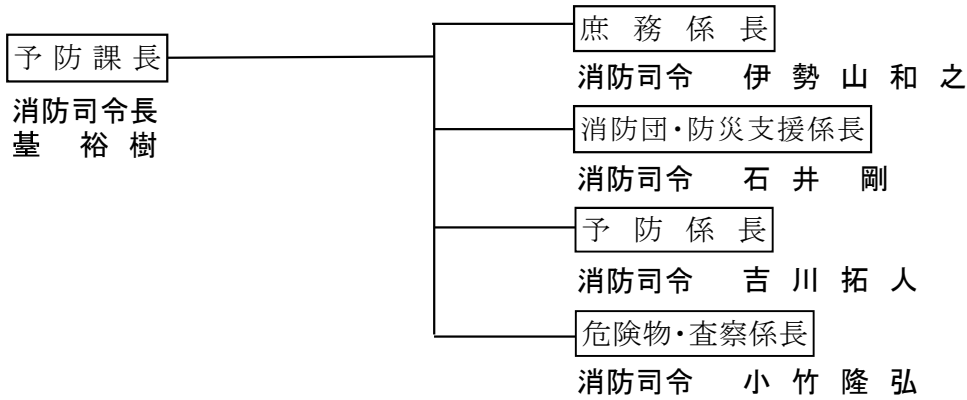
消防署の組織

(令和4年4月1日現在)

◆ 署 長
消防監
杉山 哲 男

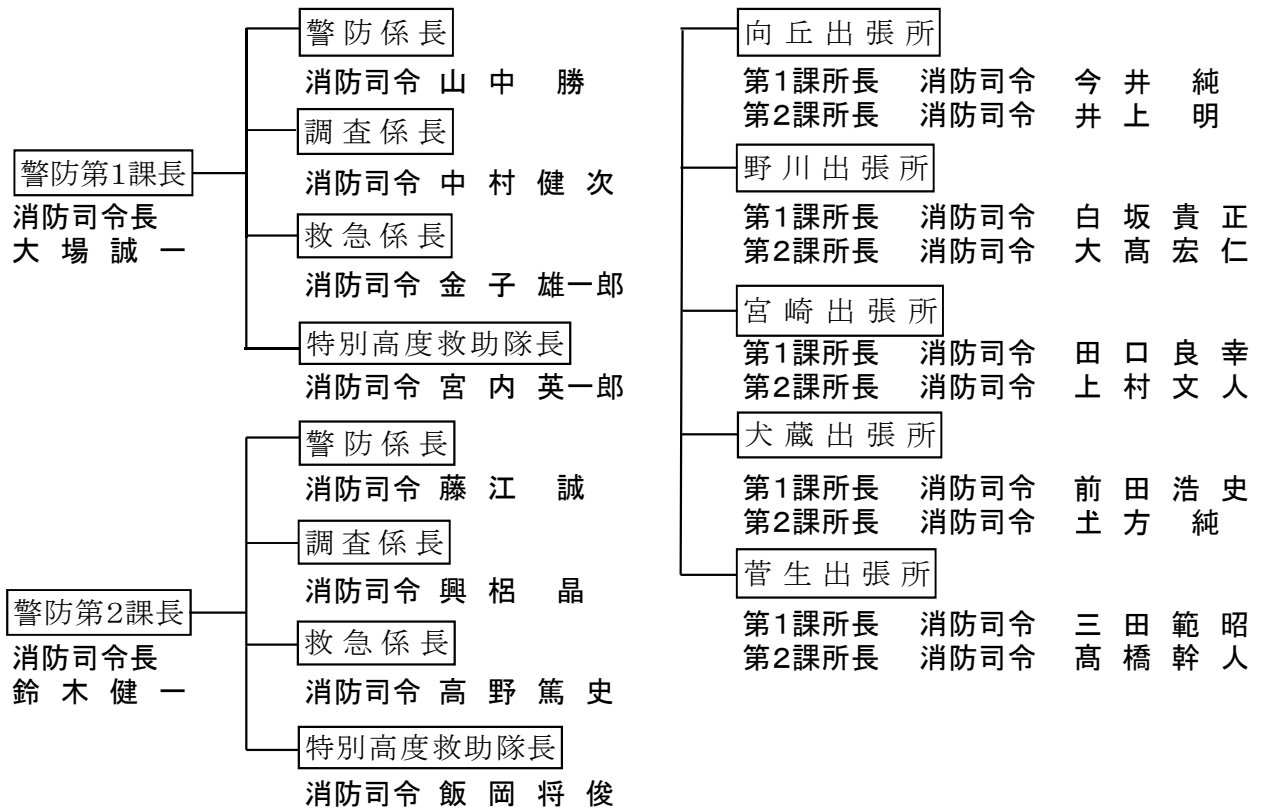
副 署 長
消防司令長
浅井 国 春
(予防課担当課長[消防団]兼務)
(宮前区役所担当課長[危機管理]併任)

◆ 予防課



◆ 警防課

担当課長(警防統括担当)
消防司令長
小林 裕 次



消防署の事務分掌

消防署

予防課

(庶務係)(消防団・防災支援係)(予防係)(危険物・査察係)

- 公印の保管に関する事。
- 公文書の管理に関する事。
- 署員の人事及び配置に関する事。
- 署員の給与等の支給に関する事。
- 署員の安全管理、福利厚生及び公務災害に関する事。
- 署員の研修管理に関する事。
- 消防施設の保守管理に関する事。
- 物品の出納保管に関する事。
- 消防用油脂類に関する事。
- 車両の点検及び定期点検に関する事。
- 広報及び広聴に関する事。
- 署内他の係の主管に属しない事。
- 消防団等に関する事。
- 消防団の機械器具等に関する事。
- 地域における防災活動の支援に関する事。
- 火災予防の実施計画に関する事。
- 防火管理に関する事。
- 防災管理に関する事。
- 建築物の消防同意等及び検査に関する事。
- 火災予防関係の申請及び届出に関する事。
- 屋外の火災予防に関する事。
- 防火協会等各種団体に関する事。
- 消防用設備等に関する事。
- その他火災予防に関する事。
- 危険物製造所等の許可、承認及び届出に関する事。
- 危険物製造所等の完成検査前検査及び完成検査に関する事。
- 危険物製造所等の保安に関する事。
- 危険物施設等に係る立入検査及び違反処理に関する事。
- 少量危険物及び指定可燃物の届出並びにタンクの水張検査等に関する事。
- 危険物及び指定可燃物に係る災害調査に関する事。
- 危険物施設消防設備等に関する事。
- 危険物事故防止等に関する事。
- 危険物許可手数料の徴収、出納に関する事。
- 火薬類及び高圧ガスに関する事。
- 予防係に属さない外郭団体に関する事。
- 防火対象物に係る立入検査及び違反処理に関する事。
- 屋外の火災予防に関する事。
- 防火対象物の表示制度等に関する事。

警防第1課・警防第2課

(警防係)(調査係)(救急係)

- 災害活動に関する事。

- 警防計画及び防災対策に関すること。
- 警防体制、災害活動の指揮に関すること。
- 消防職員及び消防団員の動員に関すること。
- 火災警報、消防信号及び消防通信に関すること。
- 消防地理及び消防水利に関すること。
- 消防隊等の運用及び訓練に関すること。
- 救助業務に関すること。
- 自衛消防隊、自衛防災組織等の訓練の指導等に関すること。
- 圧縮アセチレンガス等の消防活動阻害物質に関すること。
- 消防用機械器具に関すること。
- 機関員の技術指導に関すること。
- 消火薬剤等に関すること。
- 課内他の係の主管に属しないこと。
- 火災の調査及び災害調査に関すること。
- 指揮情報隊に関すること。
- 火災統計に関すること。
- 災害情報及び災害現場広報に関すること。
- 火災予防指導等に関すること。
- 課の安全管理に関すること。
- 救急活動に関すること。
- 救急隊の運用及び訓練に関すること。
- メディカルコントロールに関すること。
- 救急資機材に関すること。
- 救急統計に関すること。
- 救急技術の研究に関すること。
- 市民に対する救急技術の指導及び救急知識の普及に関すること。
- 救急告示医療機関等の連絡に関すること。
- その他救急業務に関すること。

出張所

- 消防施設の保守管理に関すること。
- 物品の保管に関すること。
- 広報広聴に関すること。
- 消防用機械器具に関すること。
- 警防計画に関すること。
- 消防地理及び消防水利に関すること。
- 災害情報の収集に関すること。
- 職場研修に関すること。
- 自衛消防隊、自衛防災組織等の訓練指導に関すること。
- 火災の調査及び災害調査に関すること。
- 救急に関すること。
- 火災予防指導等に関すること。
- 消防法（昭和23年法律第186号）、川崎市火災予防条例（昭和48年川崎市条例第36号）及び川崎市防火管理等に関する規程（平成11年消防局訓令第18号）に基づく届出等のうち、別に定めるものの処理に関すること。
- その他、消防長が定める事項に関すること。

消 防 職 員 の 配 置

(令和4年4月1日現在)

署所別		区 分	小 計	消 防 監	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士
合 計	定 員		184	1	5	20	158			
	現 員		184 (2) 〔34〕	1	5	22 〔2〕	35 (1) 〔10〕	56 (1) 〔13〕	4	61 〔9〕
本 署	予 防 課 (署長及び副署長含む)		20 (2) 〔1〕	1	2	4	7 (1)	4 (1) 〔1〕		2
	警防第1課 (担当課長(警防統括担当)を含む)		32 〔5〕		2	4 〔1〕	6 〔2〕	13 〔1〕		7 〔1〕
	警防第2課		30 〔5〕		1	4 〔1〕	5 〔1〕	13 〔2〕		7 〔1〕
出 張 所	向丘出張所		22 〔6〕			2	3 〔1〕	6 〔3〕	1	10 〔2〕
	野川出張所		22 〔6〕			2	4 〔2〕	4 〔2〕	1	11 〔2〕
	宮崎出張所		22 〔5〕			2	4 〔2〕	5 〔2〕	1	10 〔1〕
	犬蔵出張所		14			2	2	6	1	3
	菅生出張所		22 〔6〕			2	4 〔2〕	5 〔2〕		11 〔2〕

※ () 内は、女性職員数、〔 〕は救急救命士で、内数で示しています。

消 防 署 所 の 配 置 車 両 等 の 状 況

車 種	小 計	本 署	野 川	宮 崎	向 丘	犬 蔵	菅 生
消防ポンプ自動車	7 (1)	1	1	1	1	2 (1)	1
水槽付消防ポンプ車	2	1				1	
はしご付消防自動車	1	1					
救助工作車	1	1					
特殊災害対応自動車	1	1					
大型除染システム搭載車	1					1	
高規格救急自動車	6 (1)	2 (1)	1	1	1		1
指 揮 車	2	2					
ポンプ積載車	1	1					
広 報 車	2	2					
査 察 車	2	2					
合 計	26 (2)	14 (1)	2	2	2	4 (1)	2

※ () 内は、非常用車両で、内数で示しています。

消防署管内図等

(令和4年4月1日現在)

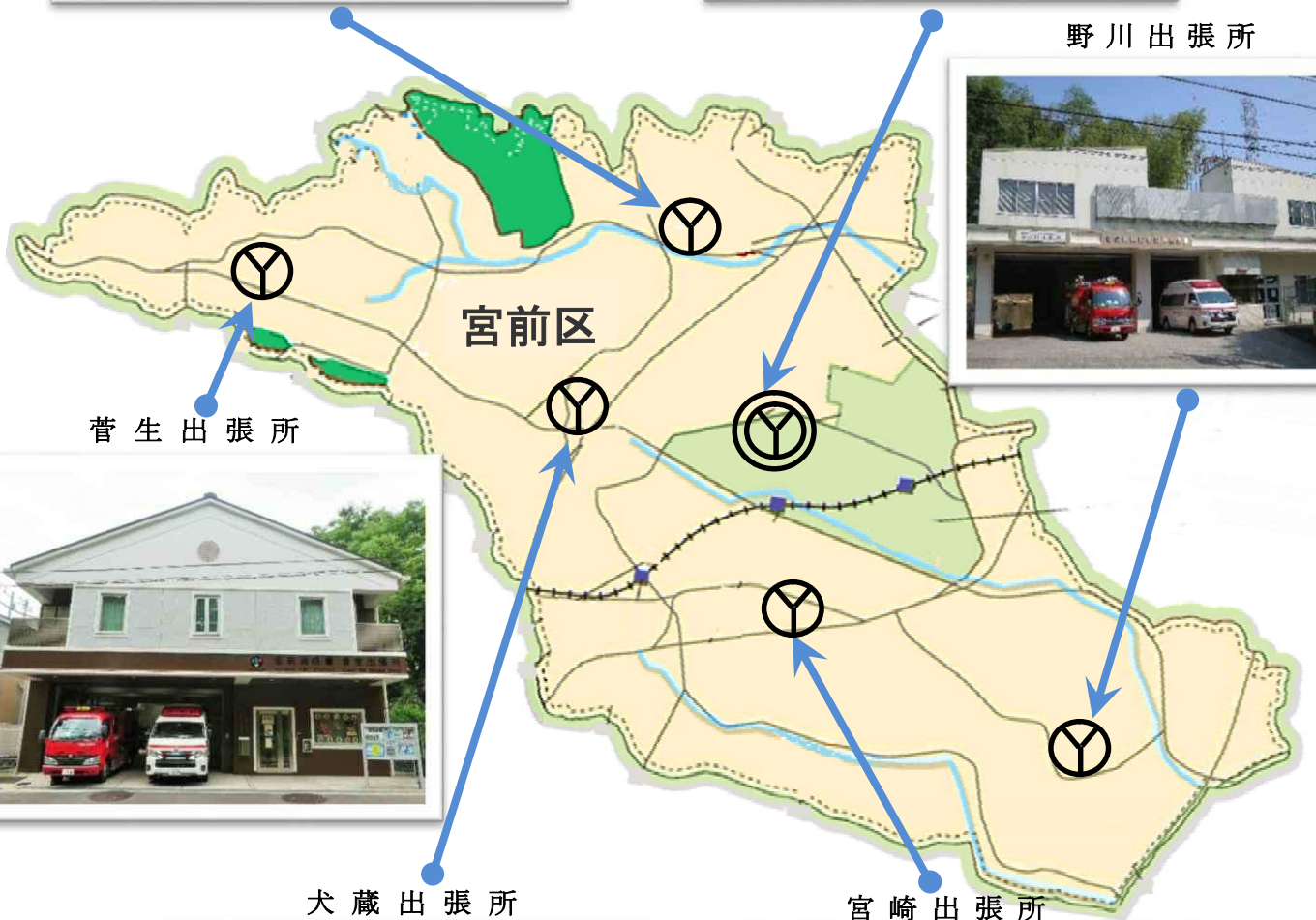
向丘出張所



宮前消防署



野川出張所



菅生出張所



犬蔵出張所



宮崎出張所



消防署所の受持区域及び応援区域

(令和4年4月1日現在)

署 所	受 持 区 域	隣接都市応援区域
本 署 宮前平 2-20-4	宮前区のうち 宮崎 宮崎1～6丁目 宮前平1～3丁目 神木1・2丁目 馬絹5・6丁目 小台1・2丁目 土橋1・2・7丁目	東名高速道路のうち川崎インターチェンジから東京インターチェンジまでの区間の上り線及び川崎インターチェンジから横浜青葉インターチェンジまでの区間の下り線 東名高速道路のうち横浜青葉インターチェンジ下り線から横浜北西線までの区間
向丘出張所 平 1-4-17	宮前区のうち 神木本町1～5丁目 平1～6丁目 五所塚1・2丁目 けやき平 南平台 白幡台1・2丁目	
野川出張所 西野川 2-7-8	宮前区のうち 野川台1～3丁目 野川本町1～3丁目 西野川1～3丁目 南野川1～3丁目 梶ヶ谷	横浜市都筑区のうち東山田町、東山田1～4丁目、南山田町、南山田1～3丁目、北山田1～7丁目
宮崎出張所 有馬 2-8-11	宮前区のうち 有馬1～9丁目 東有馬1～5丁目 馬絹1～4丁目	横浜市都筑区のうち牛久保町、牛久保1～3丁目、牛久保西1・3丁目、牛久保東1～3丁目、すみれが丘、大圃町、大圃西、中川6丁目、中川中央1丁目、あゆみが丘、青葉区のうち新石川1～4丁目
犬蔵出張所 犬蔵 1-10-2	宮前区のうち 犬蔵1～3丁目 初山2丁目 菅生6丁目 土橋3～6丁目 鷺沼1～4丁目	横浜市青葉区のうち元石川町、美しが丘1～5丁目、美しが丘西1～3丁目 東名高速道路のうち本署応援区域に同じ
菅生出張所 菅生 3-43-23	宮前区のうち 菅生ヶ丘 水沢1～3丁目 潮見台 菅生1～5丁目 初山1丁目	

(総務企画局情報管理部統計情報課資料 令和4年4月1日現在)

宮前区： 面積 18.60km² 世帯数 108,088世帯 人口 233,947人

防火対象物の状況

(令和4年3月31日現在)

区 分	対象物 (第1種)	対象物 (第2種)	対象物 (第3種)	小 計
劇場、映画館等	—	—	—	0
公会堂、集会場	—	—	—	0
キャバレー、ナイトクラブ等	—	—	—	0
遊技場、ダンスホール	2	—	—	2
性風俗営業店舗等	—	—	—	0
カラオケボックス等	1	—	—	1
待合料理店等	—	—	—	0
飲食店	53	—	8	61
百貨店、マーケット等	73	—	30	103
旅館、ホテル等	6	—	1	7
寄宿舎、共同住宅等	—	758	2,401	3,159
病院、診療所等	9	—	25	34
福祉施設(入所)等	48	—	7	55
福祉施設(通所)等	82	—	29	111
幼稚園、特別支援学校	14	—	—	14
小、中、高等学校、大学等	—	27	—	27
図書館、博物館	—	1	—	1
蒸気浴場、熱気浴場等	—	—	—	0
上記以外の公衆浴場	—	1	—	1
車両の停車場等	—	—	2	2
神社、寺院等	—	9	11	20
工場、作業場	—	2	100	102
映画スタジオ等	—	—	2	2
自動車車庫等	—	—	11	11
飛行機格納庫等	—	—	—	0
倉庫	—	5	85	90
前各号に該当しない事業場	—	76	118	194
複合用途(16項イ)	280	—	185	465
複合用途(16項ロ)	—	87	346	433
その他	—	—	—	—
合 計	568	966	3,361	4,895

※「第1種」とは、特定防火対象物で収容人員30人(福祉施設入所10人)以上のもの

※「第2種」とは、非特定防火対象物で収容人員50人以上のもの

※「第3種」とは、自動火災報知設備または消火器を設置しなければならないもの

(第1種、第2種を除く)

消防用設備等の設置状況

(令和4年3月31日現在)

消防設備名	対象数
屋内消火栓設備	370
スプリンクラー設備	105
水噴霧消火設備等	147
屋外消火栓設備	5
動力消防ポンプ設備	0
自動火災報知設備	1,615
ガス漏れ火災警報設備	7
漏電火災警報器	267
非常警報設備	406
避難器具	577
誘導灯	1,478
消防用水	2
排煙設備	8
連結散水設備	20
連結送水管	227
非常コンセント設備	10
合 計	5,244

各種届出状況

(令和3年度中)

届出設備	届出数
消防(防災)計画作成(変更)届出書	526
防火防災管理者選任(解任)届出書	455
全体についての消防計画作成(変更)届出書	41
統括防火防災管理者選任(解任)届出書	24
喫煙、裸火使用又は危険物品持込み承認申請書	3
防火対象物使用開始届	138
改装工事届	0
火を使用する設備等の設置届	8
電気設備設置届	32
消防用設備等工事計画届	126
工事整備対象設備等着工届出書	181
消防用設備等設置届出書	432

防火・防災管理対象物及び消防計画届出状況

(令和4年3月31日現在)

用 途 別		防火管理対象物	防災管理対象物	消防計画
		対象数	対象数	届出数
1 項	イ 劇場、映画館等	-	-	-
	ロ 公会堂、集会場	-	-	-
2 項	イ キャバレー、ナイトクラブ等	-	-	-
	ロ 遊技場、ダンスホール	3	-	3
	ハ 性風俗営業店舗等	-	-	-
	ニ カラオケボックス等	1	-	1
3 項	イ 待合、料理店等	-	-	-
	ロ 飲食店	52	-	49
4 項	百貨店、マーケット等	81	-	77
5 項	イ 旅館、ホテル等	6	-	6
	ロ 寄宿舎、共同住宅等	810	-	727
6 項	イ 病院、診療所等	17	-	17
	ロ 福祉施設(入所)等	47	-	45
	ハ 福祉施設(通所)等	83	-	80
	ニ 幼稚園、特別支援学校	14	-	14
7 項	小、中、高等学校、大学等	41	-	40
8 項	図書館、博物館等	1	-	1
9 項	イ 蒸気浴場、熱気浴場等	-	-	-
	ロ イ以外の公衆浴場	1	-	1
10 項	車両の停車場等	-	-	-
11 項	神社、寺院等	9	-	9
12 項	イ 工場、作業場	2	-	2
	ロ 映画スタジオ等	-	-	-
13 項	イ 自動車車庫等	-	-	-
	ロ 飛行機格納庫等	-	-	-
14 項	倉庫	5	-	5
15 項	前各号に該当しない事業場	109	-	87
16 項	イ 複合用途	1,149	2	963
	ロ イ以外の複合用途	299	-	274
16項の2	地下街	-	-	-
合 計		2,730	2	2,401

建築同意事務処理状況

(用途及び構造別処理件数)

(令和3年度)

用途別 構造別	小計	耐火建築物	準耐火建築物	不燃建築物	防火建築物	木造建築物
劇場、映画館等	-	-	-	-	-	-
公会堂、集会場	-	-	-	-	-	-
キャバレー、ナイトクラブ等	-	-	-	-	-	-
遊技場、ダンスホール	-	-	-	-	-	-
性風俗営業店舗等	-	-	-	-	-	-
カラオケボックス等	-	-	-	-	-	-
待合料理店等	-	-	-	-	-	-
飲食店	1	-	1	-	-	-
百貨店、マーケット等	1	-	1	-	-	-
旅館、ホテル等	-	-	-	-	-	-
寄宿舎、共同住宅等	52	18	23	-	10	1
病院、診療所等	1	1	-	-	-	-
福祉施設(入所)等	6	2	4	-	-	-
福祉施設(通所)等	-	-	-	-	-	-
幼稚園、特別支援学校	-	-	-	-	-	-
小、中、高等学校、大学等	-	-	-	-	-	-
図書館、博物館	-	-	-	-	-	-
蒸気浴場、熱気浴場等	-	-	-	-	-	-
上記以外の公衆浴場	-	-	-	-	-	-
車両の停車場等	-	-	-	-	-	-
神社、寺院等	-	-	-	-	-	-
工場、作業場	1	1	-	-	-	-
映画スタジオ等	-	-	-	-	-	-
自動車車庫等	3	1	1	1	-	-
飛行機格納庫等	-	-	-	-	-	-
倉庫	4	-	-	3	-	1
前各号に該当しない事業場	14	-	3	9	2	-
複合用途(16項イ)	13	13	-	-	-	-
複合用途(16項ロ)	4	1	-	1	2	-
地下街	-	-	-	-	-	-
アーケード	-	-	-	-	-	-
専用住宅	301	2	132	1	164	2
工作物(エレベーター)	-	-	-	-	-	-
合計	401	39	165	15	178	4

危険物許可施設状況

(令和4年3月31日現在)

署所別 施設別		本署	向丘	野川	宮崎	犬蔵	菅生	合計
		予防規程該当	一般取扱所	—	—	—	—	6
	営業用給油取扱所	3	3	3	3	4	2	18
その他の施設	屋内貯蔵所	4	3	3	—	2	4	16
	屋内タンク貯蔵所	—	—	1	—	3	—	4
	地下タンク貯蔵所	3	2	5	—	4	5	19
	移動タンク貯蔵所	—	—	11	—	—	—	11
	屋外貯蔵所	—	—	—	—	—	—	0
	自家用給油取扱所	1	—	2	—	2	2	7
	一般取扱所	1	1	1	—	2	1	6
合計		12	9	26	3	23	15	88

少量危険物施設状況

(令和4年3月31日現在)

署所別 施設別	本署	向丘	野川	宮崎	犬蔵	菅生	合計
少量危険物施設	49	30	41	45	30	58	253

危険物保安監督者選任状況

(令和4年3月31日現在)

選任者数	事業所数	施設数
190	42	48

月別火災状況

(令和3年中)

	火災件数					焼損面積 m ² (表面積)	損害額 千円	死者	負傷者
	計	建物	車両	船舶	その他				
1月	5	4	0	0	1	103 (0)	2,023	0	3
2月	8	7	0	0	1	5 (28)	645	2	4
3月	6	4	0	0	2	63 (16)	6,002	1	2
4月	5	2	0	0	3	46 (0)	4,838	0	3
5月	1	1	0	0	0	0 (0)	1	0	1
6月	2	1	0	0	1	10 (0)	266	0	0
7月	1	1	0	0	0	0 (31)	410	0	0
8月	7	2	1	0	4	0 (0)	50	0	0
9月	3	2	1	0	0	15 0)	509	0	1
10月	0	0	0	0	0	0 (0)	0	0	0
11月	1	1	0	0	0	0 (0)	7	0	0
12月	11	5	0	0	6	116 (15)	6,718	0	0
宮前区合計	50	30	2	0	18	358 (90)	21,469	3	14
川崎市	363	226	24	0	113	1,995 (534)	143,463	11	53
比率 (%)	13.8	13.3	8.3	0.0	15.9	17.9 (16.9)	15.0	27.3	26.4

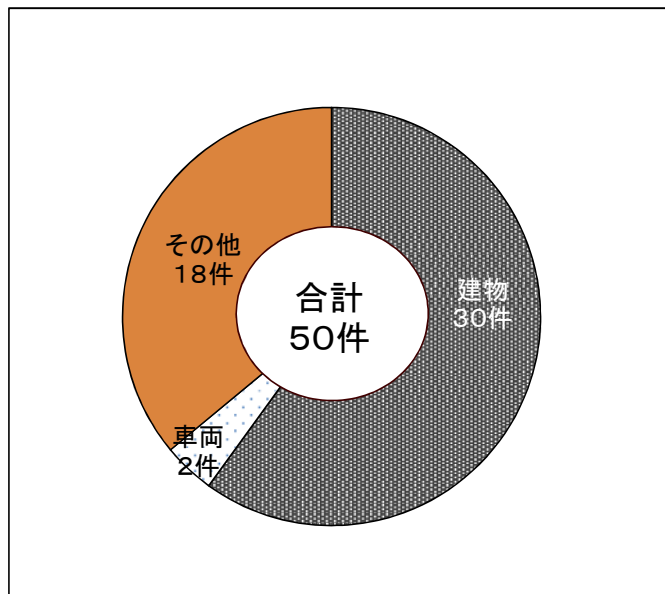
※ 焼損面積については建物のみ

町（丁）名別火災件数等

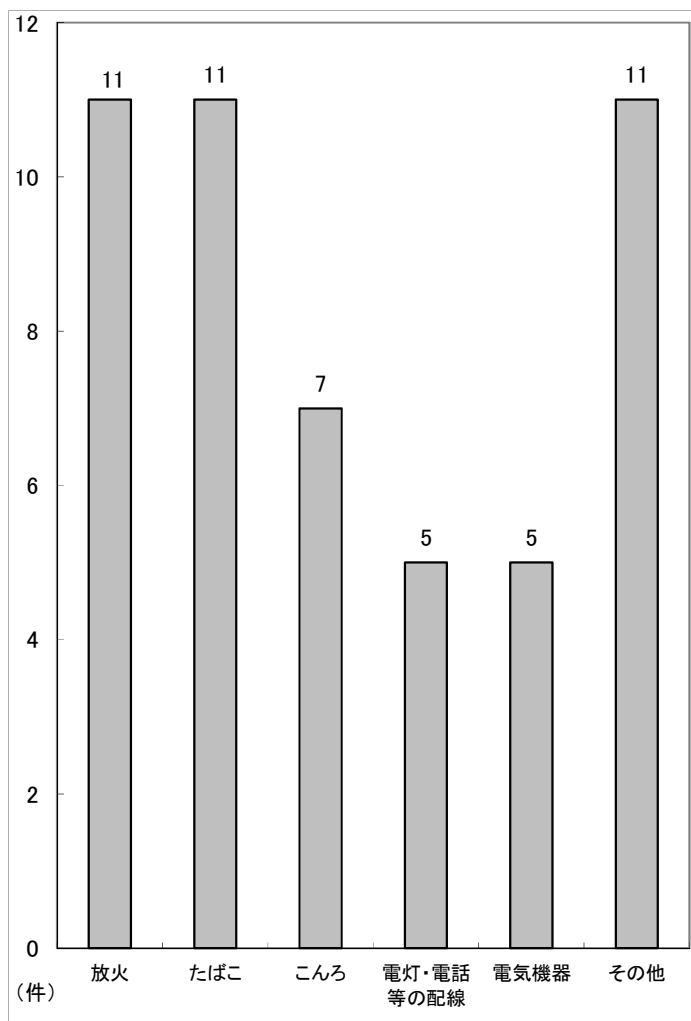
署所別火災件数（令和3年中）

署所名	町 丁 名	件 数
本 署	宮前平2丁目	3
	宮崎	2
	宮崎1丁目	1
	宮崎2丁目	3
	宮崎3丁目	1
	小台1丁目	1
	馬絹6丁目	1
	小計	12
向 丘	南平台	2
	神木本町2丁目	1
	平2丁目	1
	小計	4
野 川	野川本町2丁目	1
	西野川2丁目	2
	西野川3丁目	1
	南野川1丁目	3
	南野川2丁目	3
	南野川3丁目	1
	梶ヶ谷	1
	小計	12
宮 崎	有馬1丁目	2
	有馬3丁目	1
	有馬6丁目	1
	有馬9丁目	1
	東有馬5丁目	1
	馬絹3丁目	1
	馬絹4丁目	1
	小計	8
犬 蔵	犬蔵1丁目	1
	鷺沼1丁目	2
	土橋3丁目	1
	土橋4丁目	1
	小計	5
菅 生	潮見台	2
	水沢2丁目	1
	菅生2丁目	1
	菅生3丁目	3
	菅生ヶ丘	2
	小計	9
合 計		50

火災種別件数（令和3年中）



出火原因別件数（令和3年中）



令和3年中の主な火災

月 日	覚 知	現 場		焼損程度	死 傷 者	
		所在地	用 途		死者	負傷者
2月10日	119 (IP)	馬絹 4丁目	住宅	防火造2階建、建築面積約36平方メートル、延べ面積約71平方メートルの住宅のうち、2階居室内の収容物若干焼損	1	0
2月12日	事後 聞知	平 2丁目	住宅	防火造2階建、建築面積53平方メートル、延べ面積89平方メートルの住宅のうち、延長コード若干焼損	1	0
3月19日	119 (携帯)	潮見台	共同住宅	耐火造5階建、建築面積472平方メートル、延べ面積1,916平方メートルの共同住宅のうち、建物外壁約16平方メートル焼損、302号室(占有面積約62平方メートル)一室焼損及び202号室若干水損並びにパーテーション1枚破損	1	1

※ 死傷者が発生した火災及び社会的影響があった火災

過去5年間の火災発生状況

年中		平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年
火災件数		32	43	23	33	50
区 分	建物	22	24	17	26	30
	車両	2	7	0	4	2
	その他	8	12	6	3	18
焼損面積 (㎡)		93	140	13.1	505	358
損害額(千円)		6,887	12,481	7,765	36,405	21,469
焼損棟数		23	27	17	27	35
死者		1	2	1	0	3
負傷者		4	12	2	21	14
り災世帯		19	34	11	40	37
り災人員		37	72	35	77	95
出 火 原 因 別	放火 (疑いを含む)	14	6	3	3	11
	こんろ	5	7	2	11	7
	たばこ	2	8	6	6	11
	電気関係	5	9	7	6	10
	火遊び	0	3	2	0	2
	その他	6	9	3	7	9

過去5年間のガス事故発生状況

年 別		平成29年				平成30年				平成元年				令和2年				令和3年			
種別	区分	都市ガス	液化石油ガス	その他	合計	都市ガス	液化石油ガス	その他	合計	都市ガス	液化石油ガス	その他	合計	都市ガス	液化石油ガス	その他	合計	都市ガス	液化石油ガス	その他	合計
		漏洩	1			1	1			1	1	1			2		2		2	1	
中毒				0				0					0				0				0
爆発				0				0					0				0				0
火災		2		2				0					0		2		2				0
合計		1	2	0	3	0	1	0	1	1	1	0	2	0	4	0	4	1	0	0	1

消防署所別管内消防隊災害出場状況

(令和3年中)

署所別 種別及び項目		合 計	本 署	向 丘	野 川	宮 崎	犬 蔵	菅 生
火 災	出場件数	50	12	4	12	8	5	9
	出場隊数	315	76	19	56	61	42	61
	出場人員	1,204	286	69	212	252	159	226
	放水隊数	27	3	0	4	6	4	10
警 戒	出場件数	50	11	4	4	10	11	10
	出場隊数	227	49	18	15	45	53	47
	出場人員	865	191	71	58	171	199	175
偵 察	出場件数	143	44	14	10	36	26	13
	出場隊数	179	60	20	11	36	38	14
	出場人員	715	241	80	44	144	150	56
救 助	出場件数	111	21	25	12	26	20	7
	出場隊数	526	97	126	58	112	100	33
	出場人員	1,999	372	464	223	447	372	121
そ の 他	出場件数	184	49	29	36	36	9	25
	出場隊数	431	106	65	77	98	28	57
	出場人員	1,556	380	239	279	360	94	204
合 計	出場件数	538	137	76	74	116	71	64
	出場隊数	1,686	388	248	215	352	271	212
	出場人員	6,091	1,470	923	810	1,122	984	782
	放水隊数	27	3	0	4	6	4	10

※ 指令による出場件数です。

※ その他には、管外応援・P A連携・風水害・調査、火災及び救助出場の誤報並びに虚報を含む。

過去5年間の救急事故種別状況（出場件数）

(件数)

年 別 種 別	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年
急 病	8,211	8,393	8,937	7,377	7,836
交通事故	790	761	661	581	577
一 般	1,794	1,974	2,029	1,834	1,812
労働災害	76	72	72	64	47
加 害	47	53	47	42	46
自 損	106	108	109	79	87
火 災	26	40	30	40	34
運 動	31	21	31	12	17
自然災害	2	3	1	0	1
水難事故	0	0	2	0	2
転院搬送	515	501	641	447	489
医師搬送	1	1	0	2	0
資器材搬送	0	0	0	0	2
そ の 他	385	407	452	366	256
合 計	11,984	12,334	13,012	10,844	11,206

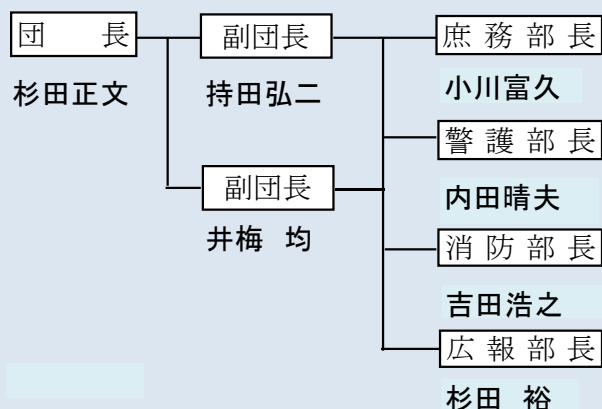
※指令による出場件数です。

宮前消防団の組織

(令和4年4月1日現在)

◆ 本団

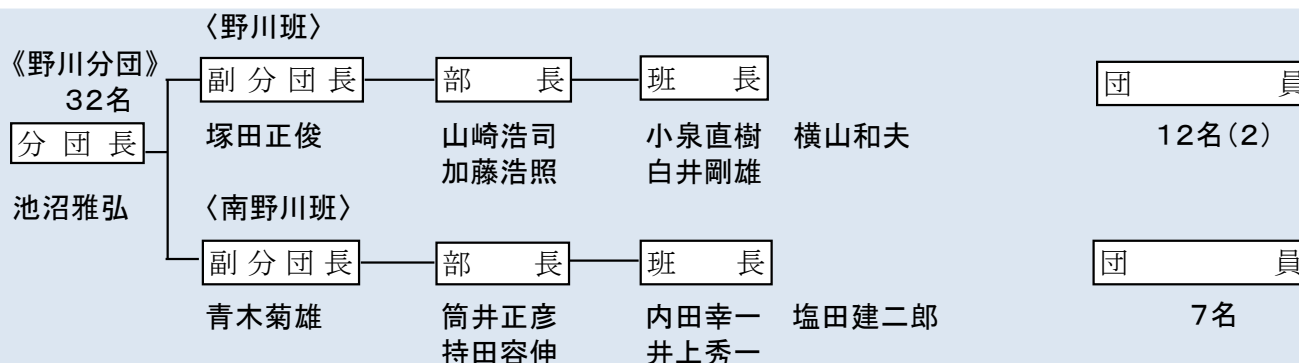
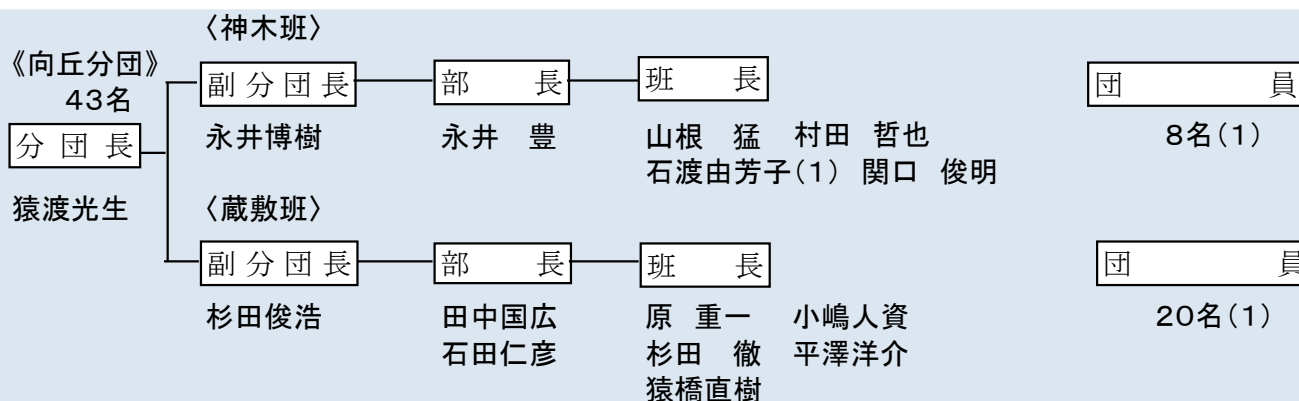
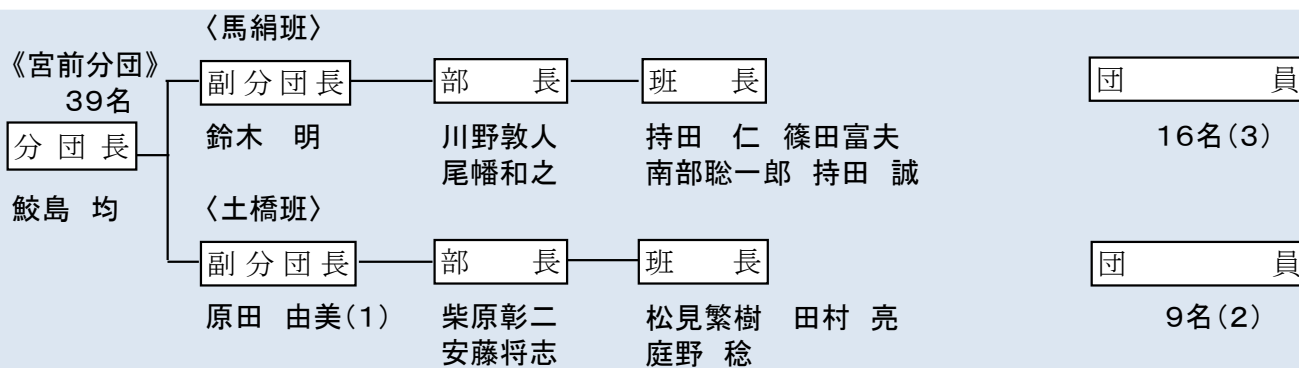
◆ 消防団の配置車両等の状況



本部・分団	班別・車両	小型動力ポンプ付積載車	小型動力ポンプ	対震用小型ポンプ(台車付)	備考
本 団			1		本署保管
宮前分団	馬絹班	1		1	
	土橋班	1		1	
向丘分団	蔵敷班	1		1	
	神木班	1		1	
野川分団	野川班	1		1	
	南野川班	1		1	
合 計	6	6	1	6	

機能別団員 大規模災害団員(後方支援活動)・広報活動団員 5名(5)

◆ 分団



※団員中()内は、女性団員で内数です。消防団員の定数は137名であり、現員は126名となっています。

宮前消防団管内図等

(令和4年4月1日現在)



向丘分団蔵敷班



向丘分団神木班



宮前分団土橋班



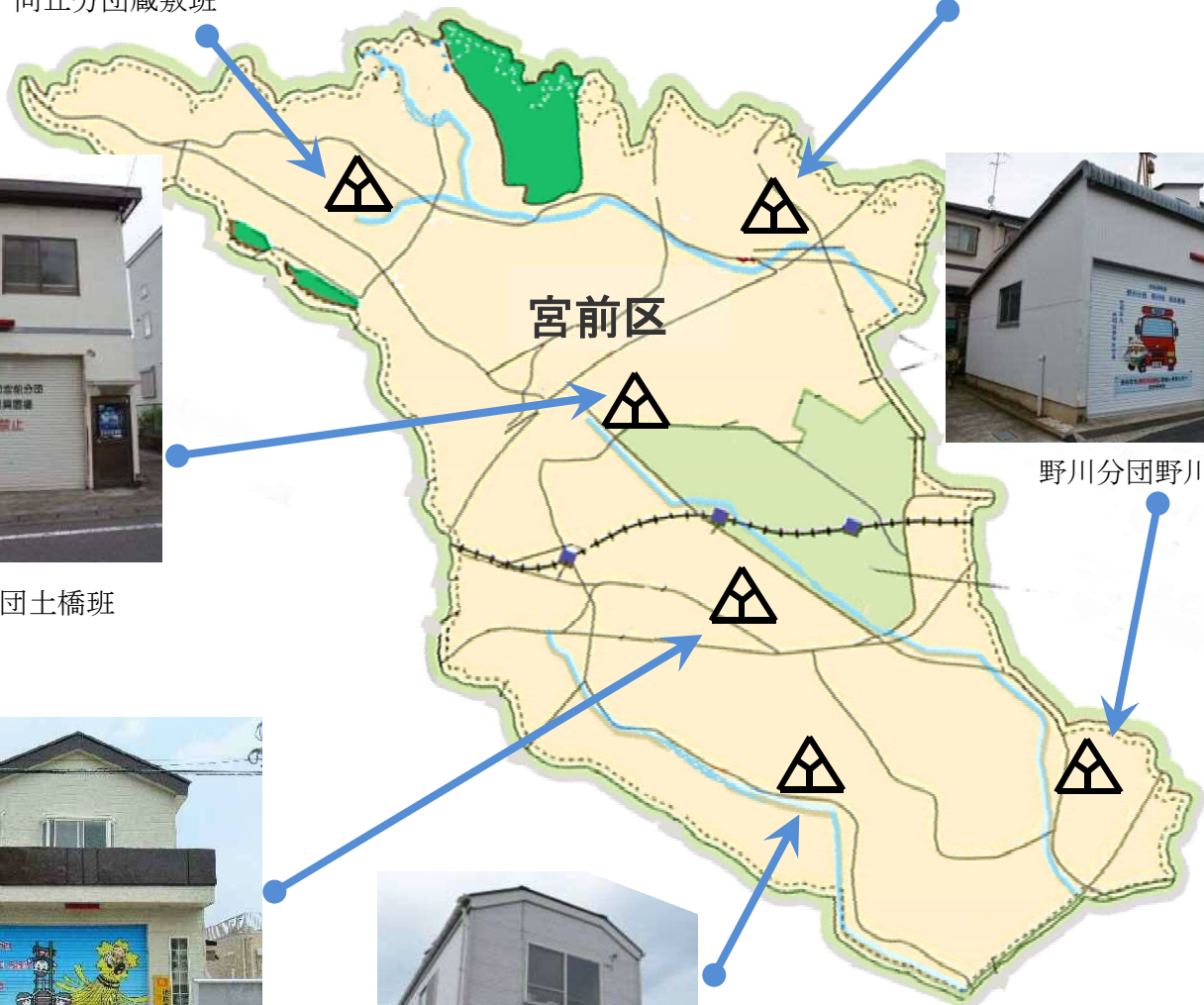
野川分団野川班



宮前分団馬絹班



野川分団南野川班



宮前区救急告示・救命救急センター医療機関

(令和4年4月1日現在)

病 医 院 名	診 療 科 目	所 在 地 ・ 電 話 番 号
聖マリアンナ 医科大学病院 救命救急センター	全 科	宮前区菅生2-16-1 (977-8111)

※令和4年4月1日現在宮前区には救急告示医療機関はありません。

消 防 協 力 団 体

(令和4年4月1日現在)

宮前防火協会	(会員181団体、事業所)
宮前消防研究会	(会員38事業所)
宮前消防ボランティア委員会	(会員31名)
宮前地区少年消防クラブ	(クラブ員12名)
初山幼稚園幼年消防クラブ	(クラブ員214名)
ゆりかご幼稚園幼年消防クラブ	(クラブ員232名)
潮見台みどり幼稚園幼年消防クラブ	(クラブ員300名)



お出かけは
マスク戸締り
火の用心

《令和4年度全国統一防火標語》

宮前消防署

郵便番号 216-0006

所在地 川崎市宮前区宮前平2丁目20番地4

電話番号 044-852-0119

FAX 044-862-2795

【メール】 84miyo@city.kawasaki.jp

【メール】 84milk@city.kawasaki.jp

【メール】 84mi2k@city.kawasaki.jp

宮崎出張所

郵便番号 216-0003

所在地 川崎市宮前区有馬2丁目8番11号

電話番号 044-855-0119

【メール】 84miyaza@city.kawasaki.jp

向丘出張所

郵便番号 216-0022

所在地 川崎市宮前区平1丁目4番17号

電話番号 044-888-0119

【メール】 84mukai@city.kawasaki.jp

犬蔵出張所

郵便番号 216-0011

所在地 川崎市宮前区犬蔵1丁目10番2号

電話番号 044-976-0119

【メール】 84inuku@city.kawasaki.jp

野川出張所

郵便番号 216-0001

所在地 川崎市宮前区西野川2丁目7番8号

電話番号 044-755-0119

【メール】 84nogawa@city.kawasaki.jp

菅生出張所

郵便番号 216-0015

所在地 川崎市宮前区菅生3丁目43番23号

電話番号 044-977-0119

【メール】 84sugao@city.kawasaki.jp



宮前消防署